

令和6年7月10日
総長選考・監察会議

望まれる総長像

～国立大学法人北海道大学の総長選考基準～

北海道大学は、1876年の札幌農学校開学以来培ってきた「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を、基本理念として掲げている。

総長の使命は、この基本理念に基づき、本学がこれまで培った固有資源を活用して、本学ならではの教育研究活動を適切・適正に運営し、持続可能な社会の実現に貢献することである。そのため、北海道大学総長には以下の資質、能力を備えていることが望まれる。

1. 識見と信頼

高潔な人格と優れた学識、学内外の敬意と信頼に基づいてリーダーシップを発揮し、本学を持続的に発展させることができること。

2. ビジョンの戦略的実行

本学が定めるビジョンの実現に向けて、学内外と適切なコミュニケーションを取るとともに、戦略的に実行することができること。

3. 人材活用と組織風土の醸成

高い志と優れた能力を有する多様な教職員を学内外から登用するとともに、全教職員が意欲と能力を最大限に発揮できるよう、信頼関係のある組織風土を醸成できること。

4. 経営の自立

教職員、同窓生および社会からの幅広い支援と協力を得て、安定的な財政基盤を築き、堅実な大学経営を実現できること。

5. 国際的な存在感の向上

世界最高水準の学術研究・人材育成を推進するため、国際的な連携と行動力に基づいて大学を運営し、世界における北海道大学の存在感を高められること。

6. 社会との共生

地域および社会との連携を深め、教育研究の成果を社会に還元できるよう積極的に取り組めること。

以上